ミオスク

# MIOSK VOL.2

## 特集：豊島区の中心でビール愛を叫ぶ

ビールを愛する気持ちは、国籍も性別も年齢も超える。

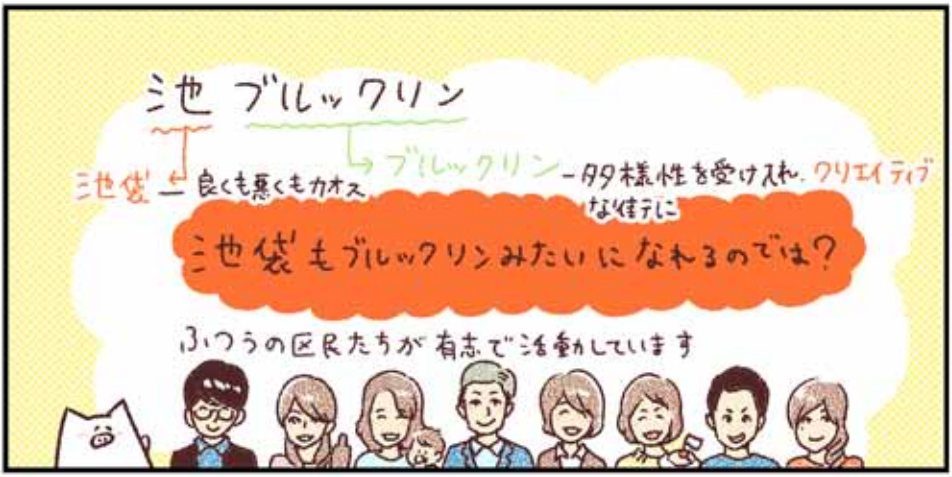
特集：まちの才能をビールであぶりだす＝Nishiikemartの挑戦

illustration by Hiroko Oda Photo by Taro Yoshitomi

池ブルックリン+MIOSK
紹介マンガ
by織田博子
こんにちは
豊島区在住の
としまくまだクマ！
としまくま
豊島＋縞熊

みんな、ぶっちゃけ
豊島区のこと
どう思ってるクマ？
おしえてほしいクマ～
治安悪そう
住むところあるの？
消滅するんでしょ？
え？
まだまだみんな
豊島区の面白さのこと
ぜんぜん知らないクマね！
住
パッパッ
消滅
治安

豊島区の魅力は
「途方もないカオスさを
飲み込む懐の深さ」だクマ
中国そのものの
池袋北口
バングラデシュ
の正月祭り
アニメ成人式
池ブルックリン
IKE-BROOKLYN
「豊島区を面白がる」
ことをテーマに活動している
池ブルックリンが
紹介するクマ！


池 ブルックリン
池袋 良くも悪くもカオス
ブルックリン 多様性を受け入れ、クリエイティブな街に
池袋もブルックリンみたいになれるのでは？
ふつうの区民たちが有志で活動しています

その中でも人気の記事を集めたのがこの「MIOSK」だクマ
MIOSK

そしてその体験をウェブで発表

面白そうなことはまず自分たちでやってみる
←セントルシア料理を習う
千川の喫茶店「ひじり湖」に突撃→
←避難所で過ごしてみる
としまTIMES http://ikebrooklyn.jp/

「豊島区で羊肉をめぐる」や「豊島区と筋肉」など独自の切り口で豊島区の魅力を描くクマ
早速読んでみてね！

MIOSKとは…
Mejiro 目白
Ikebukuro 池袋
Otsuka 大塚
Sugamo 巣鴨
Yamanote 駒込
豊島区内の山手線の駅の頭文字

# 豊島区の中心でビール愛を叫ぶ

クラフトビール（職人技のビール）やマイクロブルワリー（小さなビール醸造所）が注目されています。豊島区でも、「NAMACHA んBrewing」（大塚）や「西池袋SNARK LIQUIDWORKS」（西池袋）など個性的なブルワリーが。

おもしろい街には、おもしろいビールができる。そんな理由で、池ブルックリンが今回テーマに選んだのは「ビール」！ビールが織りなす多様性と、まちを面白くする可能性をお楽しみください。そしてまちに繰り出し、飲みに行きましょう！

現在の豊島区は、老若男女のみならず、今年の新成人の4割が外国籍だったことからも分かるように様々な人種が集まった**多様性あふれる街**。ある人はそれをカオス（混沌）とマイナスに捉えるかもしれない。でもそれは見方を変えれば、**未知の世界が手を伸ばせばすぐそこにある**ということ。少しだけ好奇心と情報のアンテナを張れば、自分たちが暮らす街でたくさんの面白い人に出会うことも、聞いたこともない国の料理を食べることもできる。**多様性は豊島区の特徴であると共に、大きな財産**だと私たちは強く思うのです。

今回のテーマは**「ビール」**。その主原料である麦芽とホップは、たくさんの副原料と出会い、様々な製法を経ることでその姿や香り、味を変え、おいしいビールとなって多くの人に愛されている。組み合わせの相乗効果でどんなビールが生まれるか分からない。その不確定さが人々を惹きつけ、多種多様なビールも「これもアリだよね！」と受け入れられる。そう！ビールの一番の魅力は、その多様性をしっかりと受けとめてくれる懐の深さなのです。

私たちは**「豊島区」と「ビール」**と

という視点を持つことで、その多様性という共通点と『**ビールは人をつなぐ。**』というワクワクするワードを発見。おいしいビールの前では、年齢も性別も国籍も関係ない。ただ、飲み、語り、笑い、酔っぱらう。私たちの街が今まで以上に魅力あふれるものになるために必要なことは、普通の人々がもっと自由気ままに街を楽しむこと。そこに「ビール」があったなら…それは思いもしなかった多様性の相乗効果をもたらすに違いない！私たちは、読者のみなさまがもっと貪欲に多様性のあるこの街を楽しめるように、まずは私たち自身が誰よりも街を楽しみながら、より面白い情報を収集し、発信。MIOSKはその集大成です。この本が魔法の聖水（ビール）を手に、未知の扉を開けて、街で楽しいひとときを過ごすきっかけとなってくれたら本望です。冒険を楽しむための魔法の呪文は**《豊島区の中心で、ビール愛をさけぶ》**で決まり！それでは、ビールの旅へ出発しましょう！

写　真・文：秋　元　志　保（instagram @shiropenguin）《自宅でも楽しめるビール》を独自の視点で紹介しています。なかなか外で飲めない子育て世代やお家ビールが一番落ち着くインドア派におススメです！

# 巻頭特集：まちの才能をビールであぶりだす ―NishiikeMart の挑戦

2019年4月、西池袋の施設「NishiikeMart」に、醸造所「SNARK LIQUIDWORKS（スナーク リキッドワークス）」が誕生しました。藤浦一理さんによるクラフトビール醸造所を中心に、インターネットラジオ「コレデイイノダラジオ」の基地、アートギャラリー「Nishiike Gallery」を併設しているという、不思議な建物「NishiikeMart」。「新しいなにかが生まれてくる場所」を感じさせます。「NishiikeMart」の今と、これからについてを株式会社シーナタウンの代表・日神山晃一（ひかみやまこういち）さんに、ビールを楽しみつつ、聞いてきました。

**ーなぜ西池袋という街で、ビールをしようと思ったんですか？**

ブルワーの藤浦さんが「ドリンクローカル」ー地域に根差したビールづくりをしたいんだ、とおっしゃった時に「一緒にやりたいな」と思いました。ビールって1か月でできるんですよね。試しで面白いこともできるし、僕らのチャレンジにも向いているな、と。アーティストの人にラベルを書いてもらったり、発信のつながりとしてビールを使っていきたいなと。NishiikeMart の前には日本酒の角打「三河酒店」があるし、隣のラーメン屋さん「麺屋KEMURI」はウィスキーの品ぞろえがすごいです。僕、めっちゃ常連なんですけど。燻製のアテが多いんです。燻製すごいことか。マスターはウィスキーの知識が幅広くて、「こんなのほしい」っていうと出してくれたりするんです。「西池袋ら辺に行くと、いい酒が飲める」と思ってもらいたいなと。このお店だけで完結しないで、他のお店と地域を作っていきたいです。

**ー醸造所の隣に、ラジオ局「コレデイイノダラジオ」がある。ユニークな組み合わせですが、なぜラジオだったんでしょう。**

これからは個々の個性が輝く時代になっていくと思います。その個性の発信の方法として、ラジオ。場所があって、ラジオがあって、お酒を飲みながら会えて。出演もできるけど、顔はわからなくて声だけ。表面とかビジュアルから入らないことからの、出会いも作れるかなと。もし動画として撮ると、めちゃくちゃ構えてしまう。その点ラジオだと、録音していることを

忘れて好きなことを言えたりもするから。「コレデイイノダ」って言えるかなと。たくさんの人に聞いてもらいたいというよりは、「聞いて、出演できて」の方に舵を切りたいですね。

トキワ荘や池袋モンパルナスのアーティスト達って、めちゃくちゃ偏ってたじゃないですか。池袋ってそういう地域だなと。トキワ荘の人たちのスピリットを受け継いでいきたいですね。「偏っているけど、これが好きで好きでしょうがない」が表に出るような場所になってほしい。

**ー NishiikeMart で、狙い通りにいったところ、意外だったところはありますか?**

醸造所やラジオ局、ギャラリーを境界で区切らずに、あいまいな部分をあえて残していること。つながっていることによって起こってくる面白さ、ハプニングが生まれることが大事だと思います。それぞれやり方が違うので、すりあわせをしたり、うまくいかないこともある。「ものすごくちょっとした発明」って呼んでるんですけど、組み合わせのちっちゃい発明があったほうが面白いし。意外だったのは、子連れの家族がたくさん入ってきてくれること。「そうなんだ」って思いました。「ベビーカーで飲んでてもいいんだ。お父さんお母さんだって、一息つきたいよね」っていう雰囲気があるなと。おしゃれでトガった年配のご夫婦とか、カッコイイおばあちゃんが一人で入ってきたりとか。「のどが渇いたからここに来たわ」みたいな。近所の方が飲みながらゆっくり本を読んだり、とか。「割となんでもいいよね」な雰囲気が気に入ってます。

**ー NishiikeMart はどのような場所になっていくでしょうか。**

僕ら自身がビールを作っているわけではないんですけど、そういう才能が来てくれて一緒にできる。いろんな才能と組み合わせていくことが大事かなと思ってます。

表現のプラットフォームを作りたいんです。ビールのラベルにアーティストの絵、そこに物語が生まれる。プラットフォームがあるからこそ、そのコラボが生まれる。それが作りたいなと思ってます。この豊かな才能がもっと活きればいいな。才能は、すなわち街の魅力なんですよ。この街のどこかに、こんな面白い人がいる。隣で飲んでるかもしれない。ということが面白い。

ここで作ったビールで、その人のリミッターをちょっと外す(笑)そういう組み合わせを楽しみたいな。少々突飛な人がいても気にしない、「いてもいいんじゃない?」って。

「うちの街、こんなに面白い場所があるんだ」って地域の人に感じてもらえたら嬉しいです。街の味を楽しむ人が増える場所を作りたいですね。

**ー NishiikeMart とビールの組み合わせは、西池袋をもっと面白くしてくれそう。今日はありがとうございました。**

Nishiike Mart

豊島区西池袋4丁目19−14

SNARK LIQUIDWORKS

営業時間は以下をご確認ください。

http://snarkliquidworks.com/access.php

# クラフトビール

## ビアパブ　カムデン

池袋東口、ヤマダ電機の裏手。昔ながらの喫茶店「皇琲亭」の2階にお店はあります。週替わりのクラフトビールとイギリス、アメリカを中心とした50種類以上のボトルビールが売りで、席数は40席。週末はランチも営業しています。客層は30～40代くらいが多い印象で、仲間とのおしゃべり組もいればデート風のカップルも。時間の経過とともにお客様が増えてきて、人々の声で店内は活気に満ち、本場のビアパブのような雑多な感じがとても心地よいです。食事も秀逸で《特製オリジナルバーガー》は大人気。筆者のおすすめは、《ホウレン草と温玉のポパイピザ》。クラフトビールとの相性バッチリです。「カムデン」は池袋東口店の他にも西口店、南池袋店もあり、それぞれ特色のあるお店になっていて、全店舗制覇するのも楽しそうです。（秋元）

▲「Interurban IPA」（左）柑橘系の爽やかさの中にふんわり優しい香り。「ホウレン草と温玉のポパイピザ」（右）食事もおいしい

**豊島区東池袋 1-7-2 東駒ビル 2 階**
**電話番号：03-3982-6599**

## GIBBON（ギボン）

立教大学と東京芸術劇場の間のほそい路地にあるこぢんまりとしたベルギービールバー「GIBBON」。青緑のドアと花のある窓が目印です。ベルギービールの種類の豊富さと、心地の良い音楽で女性一人でもゆっくり楽しめます。

まずはヒューガルデン生を、自家製フリッツとともに楽しむのがオススメ。ベルギービールに詳しくなくてもマスターの岡さんに聞けば親切に教えてくれて、好みに合うものを選んでくれます。また、マスターのお客さんとの距離感は絶妙で、一人で静かに飲みたい時には察して放っておいてくれますし、話したい時にはわりと楽しくトークをしてくれます。ふらっと立ち寄り「今日はこんな気分なのでこんな感じのビールが飲みたいです。」とオーダーしてみてはいかがでしょう。（杉江美樹）

▲ 暖かい光のある店内。手前のビールは赤ワインのようなビール「ローデンバッハ」。良いことがあった時にこれを飲むことにしています

**所在地：豊島区西池袋 3-25-7**
**電話番号：03-3982-9244**

## Pump craft beer bar

ビアフライト（ビール 4 種飲み比べ）1,000 円を注文。私は「琥珀色の日々」、「南国育ちのアセロラ娘」、「ペイピルスナー」、「アールグレイ」。どのビールもとても飲みやすく、ビールであることを忘れてぐいぐいと飲んでしまいました。アセロラ娘はとてもサッパリ、アールグレイは本物の紅茶のようでとても甘く飲みやすかったです。総じて「これがビール?!」と思ってしまうものが多く、“ビール”のステレオタイプを覆されました。

食べ物もおいしい。フライドオクラは初めて見る料理でしたが、アメリカでは意外とポピュラーな料理とのこと。外はサクサク中はとろ～りで、とても美味しかった＞＞

あっけらかんとした明るい雰囲気の店内には米国（&英国）ロックが多くかかっていました！数豊富なビールを楽しむだけでなく、限定のサービスメニューや美味しいフード、ロックな BGM まで、楽しみかたも人それぞれ♪（板垣）

▲ ビール 4 種飲み比べ 1,000 円（平日～ 19 時、土日祝～ 17 時迄）

**所在地：豊島区南池袋 3-8-3**
**電話番号：050-5590-8596**

# 豊島区内の

▲ ビールが減っているのは、撮影する前に我慢できずに飲んでしまったからです。

**所在地：豊島区池袋 3-54-2**
**電話番号：03-6882-4300**

## TWO FINGERS

池袋西口の住宅街の中に2019年2月1日にオープンしたこちらの店。コンクリート打ちっぱなしのおしゃれな店内はカウンターが5席、4人掛けテーブルが2席、スタンドが1席。すでにコアな常連客がついている様子で、店内はホップの香りと笑い声に満ち溢れています。TAPは全部で8。どれも選び抜いた樽だけに、珍しいものばかり。そんなコアなビールをグラスの表面張力ギリギリまで注いでくれます。そして、オーナーのおふたりがとってもいい雰囲気。尚子さんの太陽のような明るい笑顔とステファンさんの月のような優しい微笑みに癒やされます。なによりビールが大好きで、貪欲に美味しいビールを求める姿勢が、ビール好きにはたまらなく魅力的。おふたりの人柄に惹かれた人たちが、常連客となって今日も楽しい【オトナの隠れ家】に集まり、好みのクラフトビールを探しながら、心穏やかな時間を過ごしているのです。（秋元）

## Namacha ん Brewing（大塚）

豊島区初の、ビール醸造施設を併設したクラフトビールのお店です！ここの目玉はなんといっても自家製燻製ビール「なまちゃんの優しいラオホ」をはじめとした多彩な味わいのオリジナルクラフトビールと、おつまみにぴったりの燻製料理！ちなみにラオホとはドイツ語で「スモーク」という意味です。ラオホビールは飲んでみると燻製の香りとほどよい苦味が広がります！苦味というよりは「コク」と言ったほうがいいかもしれません。嫌味のない、後味の良い苦味です。

自然素材を使用したビールのため、わざわざ定温コンテナで輸入しています。これまたコクがあり、とっても美味しい！燻製の美味しさを心ゆくまで堪能できる「namacha ん」、メは絶品の「燻製醤油のTKG（卵かけごはん）がオススメ！（板垣）

▲ ドイツ・バンベルクのビール醸造所、シュレンケルラのラオホ・メルツェンと燻製のフード

**所在地：豊島区南大塚１丁目６０－１９**
**電話番号：03-3942-0180**

▲ 英国ロックのジャケ写やポスターでカウンターが飾られています

**所在地：豊島区西池袋 5-1-6 2F**
**電話番号：03-3981-4811**

## Nonsuch（西池袋）

イギリスの伝統的な製造方法で作られたリアルエールと心地よい英国ロックが流れるビアパブ、ノンサッチに行ってまいりました！ドラフトビールは5種類用意されており、うち2種類がリアルエール。炭酸が少ないため、まろやかな口当たりでぐいぐい飲むことができます。お料理も本格的で外れなし！お食事とビールだけでも、かなり満足できます。

さらにこちらのお店では、心地よい英国ロックのBGMなども楽しめます。90年代ブリット・ポップ周辺が中心。別カウンターに音楽雑誌が置かれており、XTCからの影響もうかがえました。BGMはホラーズ周辺がメインでしたが、ヒップホップも加わり、店主さんの趣向の広さが感じられます。英国ロックと聞いて思い浮かべるジャンルも様々かと思いますが、音楽好きなら楽しめる空間。ぜひお立ち寄りください！（板垣）

# ビール×〇〇
# 個性豊かな池ブルックリンメンバーがおくる、ビールとともに楽しみたい記事

## 【ビール×音楽♪】「Beer Beer」吐くまで飲もうぜ

タイトルとなっているは、Korpikiaani（コルピクラーニ）の「Beer Beer」。コルピクラーニはフィンランドのフォークメタル（ヴァイキングメタルに分類され、そのユニークさで他の追随を許さないワンアンドオンリーなバンドです。

邦題のセンスがこれまた秀逸（？）で、この曲の邦題は「吐くまで飲もうぜ」。他の曲も「ビール飲み放題」「朝まで飲もうぜ」「酒場で格闘ドンジャラホイ」（フィンランド人はお酒が入るとレスリングをするそうです）「酒が入れば百万馬力」などなど、どれだけ飲んでるの！”とツッコミを入れたくなるタイトルが並びます。コルピクラーニのメンバー自身もこの邦題に大爆笑しているようです。

さて、ビールと音楽と聞いて思い浮かべるものは人それぞれ。筆者が周囲に聞いただけでも「音楽フェス」「イベント」「パーティ」など様々な声が上がりました。特定の人やシチュエーションが浮かぶかたもいらっしゃるかもしれませんね。

いずれにせよ音楽とアルコールはとても相性が良いもの。当のミュージシャンにもお酒好きは多いようです。中にはお酒が好きすぎて、アルコール依存症となり命を落としたミュージシャンも…。

エイミー・ワインハウスがアルコール依存症矯正施設に入所した経験をもとに作った「Rehab」（リハビリティの略）。この曲でグラミー賞を受賞しています。彼女はアルコール依存症に薬物の使用も相まって、2011年7月に他界しています（死因は未だ究明されていません）。

悲しい話題が続きましたが、明るい話題もひとつ。サニーデイサービスのドラマー丸山晴茂が2018年5月に飲酒も原因とみられる癌で永眠したニュースは記憶に新しいですが、同じサニーデイサービスのヴォーカル曽我部恵一は、お酒を断ち精力的に活動していることで知られています。

先日2018年12月21日に横浜ベイホールで行われたライヴでも、忌野清志郎ばりに迫力のある声を張り上げてロックしていました。

ビールはお酒のなかでも、とても安全な飲み物と言われています。ある程度まで飲むと飲めなくなるからです（あくまで一般的な話としてご理解ください）。今夜はパーティ！BGMのチョイスはあなた次第♪「吐くまで飲もうぜ」まではいかなくても、ほどほどに楽しく「酒が入れば百万馬力」のノリでその場の雰囲気もお酒もエンジョイしたいものです>>（板垣有）

## 「池袋 de R&B」は先輩と後輩を繋ぐ架け橋

私はR&B派です。R&Bとは、リズム&ブルースではなく、ラーメン&ビールのこと!

今から十年以上前、当時勤務していた会社に4人の後輩がいて、それなりに厳しく指導をしていました。ある時、残業を終えて帰ろうとすると後輩たちも仕事をしていました。少し考えて声をかけました。

「ラーメン食べに行かない?」

ラーメンなら私でもごちそうできるし、ビール1杯に軽くつまんで麺でシメれば翌日にも影響がないと思ったからです。

「いいですね、行きましょう!」

一緒に行くと楽しそうに仕事のこと、プライベートのことをたくさん話してくれました。

それからその店に行くようになり、「ラーメン&ビール、R&Bですね!」となり、「R&Bする?」というのが合言葉に。私たちのコミュニケーションは良くなり、仕事の成果も上がるようになりました。それから少しして私は退職。後輩たちが工夫を凝らした送別会を開いてくれて感激でした。

その後もR&Bの響きが忘れられず、「一人R&B」「ご当地R&B」などSNSに投稿。「R&Bって言葉いいね!」という反応に、元祖R&Bのことを思っていました。

そしてついに!地元池袋にて元祖R&Bを開催!後輩4人が池袋に集合。北口の「節骨麺ラーメンたいぞう」は魚介系のダシが美味しく、テーブル席もあってR&Bにぴったり。久しぶりに会った彼・彼女らの印象は当時のまんま。でも話してみるとやっぱり、時は経っているのでした。

「課長になりました。」

「子供ができました。」

語る姿が頼もしくなっています。新入社員だったOさんも「結婚が決まりました!」と嬉しそう。「プロポーズの言葉は?」「結婚したら個室は持つ派?持たない派?」この十年で身につけたそれぞれの結婚観・人生観のダシが滲み出てきます。そろそろラーメンでシメる時間。

「先輩後輩の懇親にR&Bはぴったり!なんでも言える。」

「深酒にならなくていい!」

「池袋の街の活気に驚いた。また集まろう!」

池袋駅までの帰り道、しみじみ見上げるとそこには「客引きは、100%ぼったくり」の垂れ幕。最後まで笑い続けて解散に。

私にとってR&Bは後輩とつながる小さな架け橋です。(杉江美樹)

## 【ビール × 小説】風の歌を聴きながらビール!

小説にビールが出てくる作品はいろいろあるのですが、中でも読み始めると無性にビールが飲みたくなってしまう小説ナンバーワンは、村上春樹の『風の歌を聴け』です。(完全なる私見ですが。)村上春樹というと「ウイスキー」のイメージが強いかもしれませんが、その作品の多くで「ビール」も活躍しています。では、作品の中でビールはどのような効果をもたらしているのか?『風の歌を聴け』の文章から検証してみましょう。

P15「一夏中かけて、僕と鼠はまるで何かに取り憑かれたように25メートル・プール一杯分ばかりのビールを飲み干し、「ジェイズ・バー」の床いっぱいに5センチの厚さにピーナッツの殻をまきちらした。そしてそれは、そうでもしなければ生き残れないくらい退屈な夏であった。

P22「何故ビールなんて飲む?」(省略)「ビールの良いところはね、全部小便になって出ちまうことだね。ワン・アウト一塁ダブルプレー、何も残りゃしない。」

P97「その夜、鼠は一滴もビールを飲まなかった。これは決して良い兆候ではない。」

《退屈+ビール=FUN》ビールは退屈な時間を楽しい時間に変えてくれるが、刹那的で潔い飲み物であるとの見解が読み取れます。ひとときの高揚感で人との距離を近づけ、楽しい時間を共有することができる優れた飲み物でありながらその酔い(FUN)は一時的なものであり、時間とともに身体からも心からも跡形もなく消えてしまうのです。

ビールがほろ苦いのはその存在の脆さが出会いと別れを繰り返す私たちの人生を彷彿とさせるからかもしれません。ビールという飲み物はとにかく懐が深く、気心知れた友人と楽しく飲むもよし、これから仲良くなりたい人と心の扉を開くきっかけとして飲むもよし、小説の登場人物になったつもりで飲むのもよし、こだわりのビールを蘊蓄たれながら飲むもよしなのです。《とりあえずビール》文化が廃れてきている昨今ですが、楽しい気分になりたいなら ご一緒に《とりあえずビール》でも飲んでみませんか?(くれぐれもプール一杯分は飲まないように、ご自分の適量で♪)(秋元志保)

## としま TIMES より 人気の記事の紹介

面白いことはとりあえず行って体験して記事にします

## 豊島区が仕掛ける「アニメ成人式」を取材しました！

2019年1月14日。この年の豊島区の成人式は「アニメ成人式」と聞きつけて、池ブルックリンメンバーの板垣、目黒が潜入取材してまいりました♪

アニメ成人式は、司会に「機動戦士ガンダム」や「ワンピース」の声優として知られる、矢尾一樹さん。豪華スペシャルゲストとして「プリキュアシリーズの主題歌などで知られる歌手の、五條真由美さん。そして「ウルトラマン」シリーズの主題歌や舞台でも活躍中の、松原剛志さん。アニメ界では“超有名人”“大御所”たるかたがたをお迎えして、大変ユニークな式典となりました！

式典の内容の詳細は、としまTIMES(http://ikebrooklyn.jp) をご覧いただき、MIOSK紙面では、式典後の成人の方のインタビューを掲載します！

### 晴れ着の女性4人組にインタビュー

**—アニメ成人式はいかがでしたか？**

私、ワンピースが大好きなんです。司会者が矢尾さんで、すっごい嬉しかった。そこがアニメ成人式の良かったところ。有名なかたとかにお目にかかれて嬉しかったです。

**—プリキュアの歌などはいかがでしたか？**

盛り上がって良かった。最高でーす。

### 航空自衛官の熊谷丈司ルイ（くまがい・じょうじ・るい）さんにインタビュー

**—本日の服装はどのような服装（コスプレ？）ですか？**

航空自衛隊の制服です。

**—航空自衛隊？なるほどなるほど。ハーフの方ですか？**

フランスと日本のハーフです。お父さんがフランス人、お母さんが日本人。

**—ずっと豊島区に住んでいるのですか？**

そうです。小学校、中学校、高校と住んでいます。

**—豊島区にずっと住んでいる感想は？**

自分は椎名町のほうですけど、素敵ですね。出れないです。

**—将来の夢や抱負を聞かせていただけますか？**

人を幸せにするようなことをやっていきたいなと思います。

### ドレッドヘアのハーフの男性にインタビュー！

**—新成人のかたですか？**

はい。いちおう。笑。

**—今日のアニメ成人式いかがでしたか？**

すごかったです。（友人の女性を呼ぶ）

**—意外にコスプレしてる人、少なかったですね。**

ベジータがいた。

**—あ、ベジータいましたね。**

**—ハーフですか？**

そうです。

**—実は、豊島区の人口の10人に1人くらいは外国人で、池ブルックリンとしては、多様な声を発信したいなと思っているんです。**

豊島区は何であんなにアニメ推してるんだろ。

**—豊島区自体、アニメを文化として推してますね。ピンときていない人もいると思いますけど。今後の抱負とか、豊島区がどうなってほしいとか、ありますか？**

豊島区は、都会の中でも田舎に近いとか言われていると思うんですけど、豊島区といってパッと出てくるのが“池袋”という人も多いこのご時世を変えていきたい。

今の時代、人生百年と言われていて、これから残り八十年、地元を盛り上げるためには、まず“周りにとらわれな

い”こういう人たち（ご友人たちを指して）が増えていくことがまず課題なんじゃないかなと。今回も“コスプレもいいですよ”って言って、コスプレしたのはこの人くらいだし（ご友人。してないよ！”とツッコミ）。

**―確かに、個性が光るような、色んな人がいていいですよね。**

そうそう。日本っていうのは、同調圧力がすごい強い国なんで、そこをどうすり抜けて時代を変えられるかというのがやっぱり大切だと思うんですよね。それを具体的にどうするっていわれても、パッと出てこないんですけど。

**―あ、でもいいですね。そういう風に誰でも受け入れられるような地元になっていけば。ありがとうございました！**

いえ、ありがとうございました。

何人かの成人の方にインタビューしましたが、みなさんアニメ成人式はとても楽しかったようです。

新成人のみなさま、改めておめでとうございます！ぜひ、これから発展する豊島区を見守りつつ、未来を担っていただければと思います！（板垣、目黒）

新成人に囲まれてちょっと嬉しそうな区長

## 避難所で一晩過ごしてみたレポート（台風19号）

2019年10月12日・13日に首都圏を直撃した台風19号。私たちが住む豊島区でも、避難警報が発令されました。私は子供がいるので、早めに避難。そのまま一晩避難所で過ごしました。災害時の避難方法として、参考になる部分があればいいなと思い、レポートとしてまとめました。

休日のゆったりした朝、9時に警報で飛び起きました。画面には「避難レベル3」。高齢者や体の不自由な人が、避難を開始するレベルです。首都圏が暴風域に入るのは21時頃を想定されていたため、かなり早い発令でした。駒込小学校に避難※することを決め、「東京防災」という本を確認して、適当な持ち物を持っていきました。また、その本に「近親者に避難先を連絡しておく」と書いてあったので、実家に連絡しました。

※避難所が開設されるという情報をインターネットで得てから行きました。

途中、雨風が強く、道が水浸しになっていて、子ども連れでの移動は手間がかかりました。（普段の3倍ほどの時間がかかった）学校には、公共施設のせいか充実した備蓄・設備（水、食料、毛布、ラジオ、お湯）がありました。水や毛布は災害時にもっていくのは大変そうなので、備蓄があると助かるなと思いました。

それと、学校に避難したので**水道、トイレ、図書館**（子供たちに絵本を読んで時間をつぶした）があったのが便利でした。

物資の運び込みや、避難してきた人への声掛け、着替え室や授乳室などの準備などのボランティア活動もしました。避難先は、役所の方や消防団員さんのほか、学校のPTAの方で運営されていました。

16時の時点で警戒レベル5が発令されましたが、この暴風雨の中、避難することはできなかったと思うので早めに避難していて良かったなと思います。

18時、千葉県を震源とした震度4の地震があり、怖かったです。

配布された夕食（アルファ米）を食べ終わり、早めに就寝。そのあと、風の音が激しくなり、頑丈な体育館でもギシギシという音がしました。体育館には百名ほどの人が泊っており、全体に散らばっていました。込み具合は70%ほど。

体育館に寝てみた感想としては、ブルーシート＋カーペット＋毛布1枚の上に寝たので、体が痛く、熟睡は難しかったです。10月だったので寒さはなかったですが、冬はかなり底冷えすると思います。寒さ対策は大事。また、乾燥しているのか家族みんな咳が頻繁にでました。

翌朝起床した時には、台風は過ぎ去っていたので帰宅しました。

今後、災害の際に「避難所に行く」という選択肢の一つになるかと思い、このレポートを作成しました。（織田）

サイトには男性目線のレポートもあります

# 世界とつながる料理教室 @ みらい館大明

居住者の１０人に１人以上が外国人という、超グローバルシティ・豊島区。
池ブルックリン主催の、「食で世界とつながる」ための料理教室です。

隔月（偶数月）で開催されているこのイベント。２０１８年に始まり、２０２０年４月で１０回目を迎えます。イラン、ウイグル、イタリア、エストニア、中国…毎回新しい国や文化、料理に出会える楽しい料理教室で、参加者の半数はリピーターさん。「エストニアについて、まったく知らないけど、このイベントで知ることができるかなと思って」という人から「留学していて、懐かしくて」という人まで、参加者の幅も広い！

ウイグル料理

第一回目はウズベキスタンの羊肉炊き込みご飯「プロフ」（写真左）を作るイベント。３０人の定員を超え、キャンセル待ちになるほどの人気。日本人の口にもなじむ味わいと、池袋のイスラム食材スーパー「アルファラ・トレーディング」へのツアーなどもりだくさんでした。第二回目は中央アジアのうどん「ラグメン」を打つイベント。第三回目は日本語ペラペラなイタリア美女の教えるイタリアの家庭料理。第四回目は「世界一おいしい料理」に選ばれたタイの「マッサマン・カレー」。第五・六回目は「世界一難しい漢字の料理」の「ビャンビャン麺」。１日で３０人満員になる大人気イベントだった。

世界一難しい漢字の料理「ビャンビャン麺」

第七回目は２０２０年に惜しまれつつ閉店した大塚のジャヴァン・フードの美人姉妹の教えるペルシャ料理「バガリポロ（写真右）」。第八回目は日本にはレストランがないエストニア料理。日本に１００人しかいないエストニア人が、エストニア文化を教えてくれた。第九回目はウイグル料理。駒込の「レイハン・ウイグルレストラン」のレイハン夫妻が麺うちとウイグル文化を教えてくれるという貴重な機会だった。そして１０回目は駒込の東インド料理「ムガルカフェ」（２０２０年４月１２日）。これからもコアな世界の料理を紹介していくこのイベント、ぜひぜひチェックしてみてね。（織田）

主催：みらい館大明、池ブルックリン

世界とつながる料理教室

詳細・お申込みは
Peatix ページにて

# 編集後記

**めぐロッカー：アイディアサポーター**
上池袋在住。最近キャンプにはまっている。たき火セットを買いました。

MIOSK第1号を出した時から2年が経ってしまいました。この間、豊島区は大きく変わりました。東口にはハレザがオープンし、西口では西口公園が野外劇場に生まれ変わりました。しかし一番大きな変化は、人がさらに多様になった点だと思ってます。成人の4割が外国人籍の豊島区、街を歩いていると様々な国籍の方々に出会います。豊島区はまさに人種のるつぼ。池ブルックリンは引き続き、豊島区を盛り上げていきます！

**秋元志保：行政書士**
千川在住。毎週火曜日は新作ビールの日。

生まれも育ちも豊島区。豊島区で何か面白いことをしたい！と思っていた時に出会ったのがこの『池ブルックリン』でした。しかもMIOSK2号は大好きな【ビール特集】ということでミーティングに飛び入り参加し、紙面上で存分に暴れさせていただきました（笑）この冊子を片手にビールの街、豊島区を楽しんでください。多様性のある豊島区はこれからどんどん面白くなる予感でいっぱい！これからも『池ブルックリン』らしい視点で情報を発信していきます。

**織田博子：マンガ家**
「山手線1降りたことない駅」駒込在住。駒込は、最近のブームに面白い人を呼ぶこと。

豊島区を面白がりたくて「池ブルックリン」を初めて早2年。TEBUSに乗ってみたり、クラフトビールの有名なお店に行ってみたり、豊島区民センターの「世界一きれいなトイレ」への区長の並々ならぬ情熱を聞いたり、イランの家庭料理を作ったり…。自分たちが関わることで「面白アンテナ」が研ぎ澄まされ、普段過ごしている街がまるで遊園地みたいに思えたのが一番よかった。

**池ブルックリンメンバーより**

結婚を機に大塚駅近くに引っ越し、日々感じることはこんなにGlobal×Localを実践している場所はないと思います、海外の文化をすんなり受け入れる懐の深さを面白がる池ブルックリンの活動をみなさんに知ってもらいたいです！（めぐ）

豊島区の異端児「目白」に住んで二年（笑）。目白は漫画の聖地「トキワ荘」にも歩いていける素敵な街ですよ！（吉冨）

わたくし生まれも育ちも豊島区目白。ちっと隣の聖母病院で産湯を使い、ン十年の豊島区暮らし。おもしろ発見にワクワクうずうず。（瀬田）

池袋歴25年。スナックランドのチーズドック、蔵王のトーストが青春の味。あの雰囲気を追い求め、池ブルに辿り着きました。（小針）

生まれも育ちも豊島区千川。さまざまな表情を持ち、どんな人も受け入れてしまう懐の深い豊島区が大好きさ。（みき）

豊島アート・カルチャー特命大使♪舞台や演劇コンサートも♪わくわく魅力いっぱいの豊島区毎日楽しいです！（かな）

第一版 2020年3月1日発行

SNSでフォロー＆投稿してね！

ikebrooklyn2020@gmail.com

http://ikebrooklyn.jp　@ikebrooklyn　#池ブルックリン

facebook.com/ikebrooklyn2020/　@ikebrooklyn

# 池ブルックリンサイト「としま TIMES」みてね！

豊島区で面白そうなところを行って記事にしているよ！
人気の記事を紹介するクマ！アクセスしてね～！

「アニソンフィットネス」行ってきました

東池袋で活動する社会人アイドル「東池袋 52」ってどんな人たち？

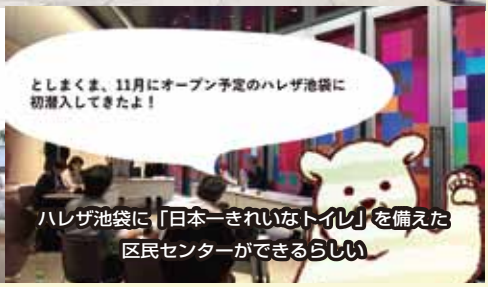
東池袋中央公園・バングラデシュのお正月祭り

「"脱"銀座」して事務所を「RYOZAN PARK 大塚」に移してみた体験記

手拍子足踏み楽団さん　2019/5/19 イベントの様子
（手拍子足踏み楽団／Clap&Stomp Orchestra）

豊島区ホームビジット体験記

「日本あんこ協会」インタビュー




ハレザ池袋に「日本一きれいなトイレ」を備えた区民センターができるらしい

## としま TIMES by 池ブルックリン

わたしたちが面白がれば、マチはもっと楽しくなる。
カオスな豊島区をディープに伝える情報サイト。http://ikebrooklyn.jp/